

そしてこれから... 次のステップへ

三人のお話を伺い、それぞれの視点から、マイバスの現状や課題などが浮かび上がりました。マイバスは今後どうなるのか、その行方を考えてみましょう。

前橋工科大が行った調査や三人のお話、市民の皆さんの声などから収支率が目標に達していないこと、市

民の皆さんにまだあまり知られていないこと、銀座通りなどでの安全対策、マイバス周辺の環境整備などの課題が浮かび上がりました。これらの課題に、どのように対処するかがマイバスの今後の行方を決めるといってもいいでしょう。

課題への取り組み

例えば、銀座通りは、マイバスなどの指定車両以外は通行できない、歩行者専用道路です。しかし、マイバスの走行を見た一般の車両が誤って進入し、マイバスの走行を妨げてしまう事態も。また、安全のために市では現在、銀座通りなどに交通警備員を配置するなどの対策をしていますが、安全対策に「これでいい」



マイバスの運行を見守る交通警備員

ということはありません。

これらの問題は市だけで取り組むものではなく、市民の皆さんとともに進めていかなければなりません。なぜなら、マイバスは市民の皆さんの意見を基につくられた、市民参加型のコミュニケーションバスだからです。そして、これらの課題を解決するには、市民の皆さんの協力が不可欠です。ここで挙げた例でいえば、皆さん一人ひとりが交通ルールを守ること、マイバスの安全な運行が可能に。つまり、皆さんのちょっとした心掛けでも、マイバスが走りやすい環境が整えられるのです。

また、市には「逆回りコースを運行してほしい」「運行地域を拡大してほしい」など、さまざまな要望が寄

せられています。これらについても市と市民の皆さんが意見を出し合って検討を重ねることが必要です。そして、それがより利用しやすいマイバスづくりにつながるのです。

成長するマイバス

多くの市民の皆さんの参加でつくられたマイバス。皆さんが利用し、さまざまな意見を出し合っていくことでこれからも成長していきます。マイバスの今後は、皆さんに委ねられているのです。皆さんもマイバスを利用し、ともに考え、ともに育てていきませんか。

マイバスは今、皆さんとともに次のステップに向けて走り出そうとしています。

問い合わせは交通政策課

890 6262へ。

より利用しやすいバスを目指して...

